



ねえきいて!

お米のてろにしぬ 3 3

旧暦に学ぶ2008年(20年)の気候予測?

季節のズレが
少ない年



☆ 旧暦時代の一年の始まりは春の始まる日からなっていました。それで旧正月は中国で『春節』と呼ばれます。

今年の旧正月(=春節)は新暦の2月7日にあたります。そして2月4日(月)が『立春』です。このように『立春』が「春節」より前に来る年は『春』の訪れは遅いのですが、晩春の気温の立ち上がりが高く、桜や桃の開花は例年より早い傾向にあります。京阪地域では春は「お水取り」(→修二会)からと言われます。



旧暦2月1日~14日まで、奈良東大寺での行事です。今年は新暦3月8日(土)~21日(金)に行われます。この頃から”**本格的な春**”が感じられるようになり、昨年より10日余り早い春の到来です。そして、裏面、図の内円の「標準旧暦4・5・6月」とその外円の「旧暦」のズレが月を追うごとに5~3

日と縮まっていきます。『秋』(=7・8・9月)はほとんどズレがなくなっています。春の立ち上がりは少し遅いながら『夏は夏らしく』『秋は秋らしく』メリハリの利いた、季節のズレが少ない一年になると予想されます。「標準旧暦」(=内円)の5月10日頃が『入梅』ですが、今年は6月14日(土)頃にあたり、例年の梅雨入り6月11日(水)頃より2~3日遅い『入梅』となりそうです。

